

えんげ 嚥下機能の検査について

こんな事に
取り組んでいます。



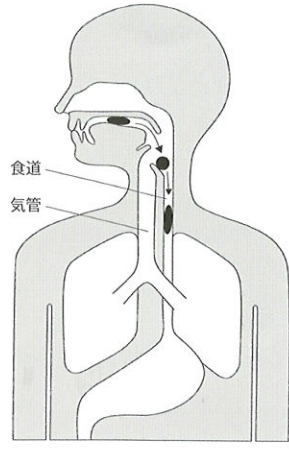
最近の研究室

食事は生きることの原点であり、さらには我々の人生に花を添える愉しみでもあります。

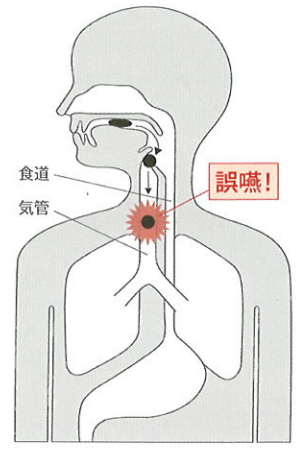
食べるということは、食物を口に取り込みかみ砕く「摂食」と飲み込む「嚥下」の一連のスムーズな流れで成り立っています。したがって、どちらか一方でも機能が低下すると、食べることに支障をきたします。飲み込む機能の障害、すなわち「嚥下障害」があると、食物や唾液が気管の方へ入ってしまう誤嚥が起きます。異物が肺や気管支内に入り炎症をおこすことによって、誤嚥性肺炎を発症する原因となります。肺炎は近年日本人の死因の第3位となりました。その死亡者の95%は65歳以上の高齢者ですが、その多くは誤嚥性肺炎だと言われています。誤嚥性肺炎の原因となる「嚥下障害」は気づかないうちに進行することが多いので、皆さんも一度嚥下機能をチェックされることをお勧めします。



○ 正常に嚥下している状態



× 「誤嚥」したときの状態



出典「バランス株式会社ホームページ～介護・嚥下にお悩みの方のために～」

平成25年度から、久山町の健診では、嚥下障害の早期発見のため、歯科健診の受診者で65歳以上の方を対象に、嚥下機能の検査(反復唾液嚥下検査)を実施しています。この検査では30秒間唾液を飲み続け、連続して何回ゴックンと飲みこめるか「嚥下反射」を確認します。飲みこめる回数が少ない場合、「嚥下障害」が疑われることがあります。

「嚥下障害」が疑われる場合は、嚥下機能を改善するためのトレーニングをご紹介します。久山町の方々が生涯にわたって楽しく食事ができるように、この検査を通してお手伝いできればと思います。

編集後記

平成26年の夏は、日本各地で記録的な豪雨に見舞われました。また台風のため健診も延期する事態となり大変ご迷惑をおかけしましたが、そのような中でも多くの住民の皆様にご受診していただきました。

今回のげんき予報便では、現在増加している認知症についての研究成果を取り上げました。久山町の認知症に関する研究成果はテレビや新聞でも取り上げられていますので、ご覧になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

今後も研究室の活動及び健康に関する話題を中心に、皆様のお役に立てるような、わかりやすく親しみやすい情報をお届けできるように頑張っていきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

(K・T)



お問合せ **九大ひさやま研究室**

〒811-2501 福岡県糟屋郡久山町大字久原1822-1 ヘルスC&Cセンター内
Tel:092-652-3080 Fax:092-652-3075